

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

公表							
事業所名	てらひあぽけっと 広島宇品教室						
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15				・広々と遊ぶスペースがあり、良いと思う ・個室もあるのが良い	お子様が快適・安全に過ごせるように個室と大きい部屋の清掃並びに整理整頓を常に心掛けます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	2		1	・子ども2~3人に対して、大人3~5人が望ましいです	セラピスト3名以上は、可能な限り配置させていただきますが、体調不良でお休みの場合はご了承ください。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14			1	・子供が活動しやすいスペースになっている	お子様が活動しやすいスペースや環境を維持いたします。
適切な支援の提供	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15				・いつもきれいに片づけられており良い印象	現状に満足することなく、きれいで快適な環境で過ごせるように努力していきます。
	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				・家ではできない事を沢山してもらっている	教室でたくさんの経験をしてもらい、保護者の皆様にも共有していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、「児童発達支援計画（個別支援計画）」が作成されていると思いますか。	15				細かい所まで子供の事を良く見ててくれている	現状に満足することなくお子様をよく見て、支援につなげていきます。
	8 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1		2		個別支援計画書をもっと丁寧にご説明させていただきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1			・成長に合わせたプログラムで柔軟に対応してくれる	お子様の成長に合わせた内容と共に保護者の皆様のご意向を取り入れ、柔軟に対応していきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13			2	・色々な遊びをさせてもらっている ・昔遊びを取り入れたものなど家でも実践しやすい ・常に多様な内容をしてくださっている	楽しく遊んで学んでもらえるように工夫をしていきます。昔の遊びは私たち職員も楽しいです。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	5	3		現在、他のお子様との交流の機会はございませんが、今後検討していきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					
保護者への説明等	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13		1	1	・活動の様子をモニターで見せてくださるので安心できる	保護者の皆様のご都合に合わせて、いつもモニターで様子を見ていたければ思います。
	15 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるだと思いますか。	15				・よく見てくれている ・良いところをきちんと褒めてもらえて嬉しい ・何かあればすぐに相談できるので、とても頼りになります	保護者の皆様からもご家庭や園での状況、困り事等を共有していただき、感謝しています。お子様のできる事をたくさん増やしていきたいと思います。ご相談事などお待ちしております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14			1	・沢山のアドバイスをもらっている ・悩みに対して、アドバイスをして下さって助かっています	今後もお気軽にご相談していただければと思います。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14			1	・活動が少しでも変わった事があればすぐに教えてくださるので、助かっている	お子様の状況は、必ず共有させていただきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	6	5	・1年未満の利用なのでまだわかりません	父母の会や保護者会等の開催は、今後の課題であり、開催に向け検討しております。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1		3		ご相談事がないか随時確認させていただきたいと思います。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1				
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8	4	1	2		ホームページのお知らせで活動概要などを配信しております。また、自己評価結果もホームページで公表しております。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14			1		個人情報が保管されている書類などは、カギ付きの書籍棚に保管しております。
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9		2	4		それぞれのマニュアルについては、面談時等に周知していただく機会を設けます。
非常時等の対応	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1		10		避難訓練等は職員のみ実施しておりますが、今後お子様と一緒に行動する機会をつくるようにいたします。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			5		安全に過ごしていただける環境を
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			2	・体調にもよく注意して見ていただいている	通所中に体調不良になった際には、すぐにお電話をお迎えに来ていただいております。打撲等の際には思替え時にご説明させていただいております。

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15			・安心していると思う	より安心して過ごしていただけるように心掛けます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15			・楽しみにしている様子が伝わる ・活動が待ち遠しく、その日はいつもより早く起きています ・朝起きた時から楽しみにしてます ・行き渋りも全くなく楽しく通っています	事業所として、とてもうれしいご意見をいただきまして、ありがとうございます。 たくさん楽しんでいただけるよう職員一同、より一層努力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15			・色々悩みをきいてもらい私（母）の心の支えになっています ・通いだした当初と比べて、とても成長しており満足しています	これからもお子様と共に保護者の皆様にも寄り添って、取り組んでいきます。

事業所における自己評価結果					
公表					
事業所名	てらびあばけっと 広島宇品教室				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		大きい部屋と3つの個室がありますが、状況により大きい部屋に仕切りを作り、4つ目の個室にすることもあります。	整理整頓を心掛けます。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		利用人数が多い時は、パートの方に来ていただき、安全性を確保しています。	現在の配置数から、1人専従職員を増員していきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		個別療育の際には、部屋の写真を提示して誘導しています。その他来所時には消毒する等、全ての場面で視覚カードを用いています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日清掃し、児童が心地よく過ごせるようにしています。1クール終了時には髪の毛等のゴミが落ちていますので、随時掃除機等で清掃しています。	ゴミが確認できれば、手で拾うなどするようにしていきます。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個別療育以外で個室を使用する場合は、クールダウン等で使用しています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		セラピー動画視聴や感染症対策、災害対策、療育の振り返り等、全員で共有しています。	積極的に職員個々の意見を取り入れ、良い運営ができるようにしていきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		公表した結果はプリントアウトして、保護者の方々にお渡しし、貴重なご意見は真摯に受け止め、改善に役立てています。	保護者様のご意向等は、今後も随時確認して業務改善につなげていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		朝礼や振り返りの時間等に随時情報共有を行い、業務改善につなげています。直近では職員1人1人にアルコール消毒を配布しました。	今後も職員からの意見を業務改善につなげていきたいと考えています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		第3者評価は行っておりません。今後の課題ですので、検討していきたいと考えております。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		外部研修の案内や教室内にセラピー動画視聴、本部研修受講、ハラスマント・虐待防止動画視聴、脱水症や便秘症等の勉強会を実施しています。	営業日の外部研修の参加は難しく、Webでの研修を積極的に受講できればと考えています。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		情報公表制度に基づき、支援プログラムを公表します。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		ガイドラインに則りアセスメントを実施後、職員にも共有し、支援計画を作成しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		朝礼や終礼時に情報を共有して意見交換を行っています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		個別にファーリングし、いつでも確認できるようにしています。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		記録を取り、振り返りや気づき、保護者様からの相談内容を共有して、療育支援につなげています。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		児童発達支援計画書には、各領域・支援内容を踏まえ、その児童の目標や支援内容を適切に記載しています。	移行支援、地域支援・地域連携においては、取り組みを工夫していきたいと考えています。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		活動プログラムに偏りが出ないように全職員で立案しています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		個別支援プログラムも偏りがないように組んでいます。また、保護者からの要望も随時取り入れて対応しています。	たくさんの様々な経験をしてもらいたいと思っていまので、新しい内容を取り入れていきます。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		集団活動や日常生活の場面を想定し、優先順位を考え取り組んでいます。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎日朝礼後に確認しています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		毎日振り返りの時間で、担当した児童の療育支援内容や気づきや保護者からの情報も共有し記録しています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		療育支援内容は必ず記録して共有し、保護者から連絡帳に記載があった際には、LINEで共有している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		児童の様子や保護者からの情報を共有して、支援の見直しを行っています。	

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	管理者が児発管が参加して、その内容を全員で共有しています。	指導員も経験する必要があると考えており、管理者や児発管と一緒に参加できればと考えております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		状況に応じて関係機関と連携していますが、十分ではありません。地域での連携をスムーズにできる体制を検討していきます。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	一部の園で支援内容等の情報共有を行っていますが、十分ではありません	関係各機関と積極的に情報共有が図れるようにしていきます。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	昨年1件、相談支援員様を中心に小学校、教育委員会、放課後等デイ（3事業所）、児発（2事業所）等で情報共有等の会議を行いました。	就学前には小学校をはじめ関係機関と連携できるように模索していきます。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		今後連携をできるようにしていき、スーパーバイズや助言等をいただく機会を設けてていきたいと考えています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	4		地域交流はできていませんが、通所しているお子様は、保育園や幼稚園に通園しています。通園していないお子様もいますので、地域との交流は今後の課題です。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	セラピーのフィードバック時に保護者様と情報を共有して支援につなげています。		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	保護者向けのお家でできるセラピー動画を定期的にお知らせし、家族支援を行っています。	ご家族の参加できる研修会などは行っておりませんが、地域で保護者の皆様が参加できる研修会等の案内は、今後もご案内させていただきます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	2	契約時に一通り説明をしています。変更等があれば、随時対応しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	保護者とお子様のご意向を尊重し、アセスメントやモニタリングで得られた情報を基に支援計画書を作成しています。		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	保護者には必ず支援内容の説明をして、署名をいただいております。	今後もっと丁寧な説明が必要かと思いますので、対応していきます。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	ご家庭等で困り事がないか等、随時確認するようにしています。十分な時間が必要な場合は、個別で面談して、お子様の療育の様子も見ていただいています。		
保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	地域の交流会や研修会等があれば、保護者の皆様に案内しております。	事業所では父母の会等を開催できるスペースが不十分ですので、近隣の集会所などを借りて今後開催ていきたいと考えています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		相談の申し入れがあった場合には、日程を調整し対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		ご家庭でできるセラピー動画をはじめ、ホームページのお知らせにて、療育内容等を発信しています。	LINEやInstagramなどの活用を検討しています。
	42	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	4		個人情報の取り扱いは、書籍棚にカギをかける事や個人情報が記載された物等は職員が自宅に持ち帰らない事としております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		療育で活用したものは、保護者にもお見せしながらフィードバックしたりしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		事業所で地域住民を招待するなどの行事は行えておりません。今後地域住民の方にも認識していただきたいように工夫していきたいと考えております。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2	ファイルにして保管しています。契約時には、詳しく説明する時間が確保できません。	それぞれのマニュアルは、保護者の方にまだまだ周知できていないと思いますので、今後説明をさせていただく機会をつくり、訓練も行っています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		地震による津波警戒地区的為、定期的に避難訓練を行っています。教室の玄間に避難場所を掲示しております。	職員では訓練を行ってますが、まだ通所児童と一緒に訓練はできておりませんので、今後実施していきます。
児童虐待等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		アセスメント時（通所前）に確認しています。	通所後に変化があれば、随時確認しています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		食事やおや等の食べ物は提供していませんが、アレルギーの有無は確認しています。	食物アレルギー以外にも把握していきます。

非 常 時 等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	机や椅子、遊具など、損傷個所やネジのゆるみがないか等は、定期的に確認しております。また、ヒヤリハットも共有して安全に通所していただけるようにしています。	安全に過ごしてもらうようにあらゆるケースを想定して、怪我などがないようにしていきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	通所後に体調の変化があれば、すぐに保護者にご連絡をしています。打撲などの際には、保護者様に説明しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	ヒヤリハットを共有して、安全に過ごしていただけるようになります。	同じような事象をなくすため、活動内容を隨時見直していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	虐待防止研修は、厚生労働省のHPにある動画を職員全員で視聴しています。また、当地区的研修会にも管理者が参加しています。	虐待や人権擁護については、継続して研修をしていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	契約時に説明はしておりますが、身体拘束をしなければならない通所児童はありません。	身体拘束を行う必要がある場合には、保護者様には丁寧に説明していきます。

## 事業所における自己評価総括表

公表	令和7年 1月 20日			
○事業所名	てらびあばけっと 広島宇品教室			
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 26日 ~ 令和6年 12月 21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 26日 ~ 令和6年 12月 21日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 14日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ABA（応用行動分析）による支援。 時間や空間等、日常生活に密接した構造化。	職員は本部や外部研修等、療育スキルの向上に取り組んでいます。また、ご家庭でのお困りごとを定期的に確認して、セラピー動画の視聴依頼や視覚カード等の活用を提案し実践していただいている。新しい様々な課題を考え、経験してもらう事により、保護者様からは、子供のできる事が増え成長を感じているとの言葉をいただきております。	職員には、外部研修へ積極的に参加してもらい、知識・スキルアップ・楽しく学べる課題創造等、支援の質向上を図っていきます。また、教室内は常に整理整頓と清潔な環境を維持できるように努めます。
2	身辺自立に向け運動や感覚、認知、コミュニケーション等の支援。	運動やルールのある遊びなども取り入れ、「ありがとう」や「がんばれ」など、コミュニケーションを促す機会を設けています。	個別支援目標と共に将来的な目標も踏まえ、できる事を増やし、苦手な事を少しずつ改善出来るように児童及び保護者様に寄り添って支援を行っていきます。
3	個別・小集団療育の支援。	できる事を増やしていただくために受容表出・マンド・模倣・微細運動、ビジョントレーニング等、各項目でたくさんの個別支援ツールを使用し、できたという成功体験で自信をつけていただいている。保護者様からもたくさんできる事が増えたとのお声をいただきております。	職員一同知恵をだし楽しく学んでいただくためにスマーレステップを基本として支援内容を検討し、療育の質向上に努めています。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の開催ができていない。	・保護者の方々は、仕事をされている方や他にきょうだいがいる方等、様々な状況があり日程調整が難しい。 ・教室内開催は、スペースの問題で大人数で開催ができない。	・1クール毎の送迎の合間で保護者会を開催すると比較的ご都合が合わせやすいのではないか考える。 ・開催場所は、近隣の集会所を使用する。 ・まずは少人数から開催し、保護者のニーズを確認して人数拡大を検討する。
2	通所児童と一緒に防災避難訓練を実施できていない。	・地震時の津波警報に対しての避難訓練が、徒歩5分ほどの幹線道路沿いにある商業施設であり、交通量は時間帯によってはそれほど多くない時もあるが、児童と一緒に歩いて或いは抱っこ・おんぶして避難訓練を実施する事は、危険を伴う可能性がある。	・年長組に絞り防災避難訓練を実施する。 ・必ず職員1人と児童1人で手を繋いで歩く、または抱っこ・おんぶして移動する。 ・交通量の少ない時間帯を選定する。
3	インクルージョン推進の観点からの支援体制が整っていない。	・一部の幼稚園、保育所、他の児童発達支援事業所、放課後等デイサービス、相談員様とは情報共有の機会はあったが、定期的に情報共有する機会がない。 ・特別支援学校、小学校、相談支援員様等はつながりがないため、支援内容の情報共有や相互理解を図っていない。 ・通所児童に相談支援員様が担当していない。	・定期的な情報共有の場を設ける。 ・相談支援員（事業所）様とつながりを持てるよう様々な研修会に参加し、つながりをつくる。 ・地域とのつながりも自治会やイベント等を参考に検討できなか模索していく。